

第1回丹波市地域資源活用懇話会議事録

1. 日時 令和4年6月30日(木) 13時30分～15時45分

2. 場所 春日住民センター大会議室

3. 出席者

○懇親会委員 (11名)

1号委員 関 美絵子

2号委員 藤井 和枝 、 竹内 真子 、 鴻谷 佳彦

3号委員 荻野 祐一

4号委員 田辺 真人 、 松原 慶明 、 大木 玲子

5号委員 濱田 亮光 、 植地 惇

6号委員 宇瀧 広子

○市当局 (7名)

林市長、岡林部長、高見課長、藤原課長、山内係長、本庄係長、藤原係長

4. 開会

事務局：定刻になりましたので、ただ今から第1回丹波市地域資源活用懇話会を始めさせていただきます。はじめに、本懇話会の委員にご就任いただきます皆様に、林市長から委嘱状を手交いたします。

5. 委嘱状の交付

事務局：お名前を読み上げさせていただきますので、前のほうにお願いいたします。

林市長：読み上げて委嘱状を交付

6. 市長あいさつ

事務局：次に市長から挨拶をお願いします。

林市長：本日は、みなさまお忙しいところ第1回丹波市地域資源活用懇話会に、ご出席を賜りまことにありがとうございます。「丹波市観光・商工業振興ユニティプラン」は中期的な視点をもって課題認識、将来像、進むべき方向性を明らかにし、市民の参画と共同により多彩な取り組みを展開することを目的に、平成30年度から令和9年度までの10年を期間とした振興計画で、令和2年度をもって前期とする5年が経過いたします。みなさまには令和5年度から令和9年度までの後期5年間の計画の改定にあたり、それぞれの立場からご意見をお願いします。前計画の策定の4年間、丹波市は一定の効果を感じている一方で、時流束縛無くやってきているところです。特に令和2年度、3年度は新型コロナの影響で計画当初からは想定出来なかった事態になっている。今後コロナの影響も想定する中で、丹波市の観光と商工業が活気を取り戻し、さらなる発展につながる施策を実施することにより、地域が元気になるまちづくりにつながるものと考えております。その点を汲んでいただき、

みなさまに十分なご審議をお願い申し上げて、挨拶といたします。

7. 委員自己紹介

事務局：次に、本日出席いただいております委員の皆様から自己紹介をお願いしたいと思います。資料1の順番をお願いいたします。

～委員が順番に自己紹介～

事務局：本日、山口 嘉幸さんが欠席。合計12名でご協議を頂く事になります。続いて市職員の自己紹介です。

～丹波市職員が順番に自己紹介～

事務局：また、この懇話会を円滑に進めるために、議事の記録、委員様からの意見整理やアドバイス等の支援を頂く業者を紹介します。(株)都市設計総合研究所の田中所長です。

～(株)都市設計総合研究所の田中所長、挨拶～

事務局：お手元の資料の確認をお願いします。

～資料の確認～

6. 地域資源活用懇話会の役割

事務局：次に、地域資源活用懇話会の役割について説明いたします。資料2をご覧ください。丹波市地域資源活用懇話会設置条例第1条において設置目的と条例第2条において役割が書かれております。今回の、観光・商工業振興ユニティプラン改定について委員の皆さまにはお世話になりますがよろしく願いいたします。

7. 委員長及び副委員長の選出について

事務局：次に、懇話会の会長、副会長の選出についてでございます。設置条例第5条により会長、副会長を決めていただきます。まず、会長、副会長への立候補はございますでしょうか。

事務局：無いようですので、こちらから会長、副会長の提案させていただきたく思いますが、よろしいでしょうか。

事務局：それでは、会長に田辺真人様、副会長に関美絵子様にお世話になりたいと思います。委員の皆さまよろしいでしょうか。承認される方は拍手をお願いいたします。

～委員が拍手～

事務局：それでは会長に田辺真人様、副会長に関美絵子様が選任されましたので、前の席に移動をお願いいたします。

8. 会長あいさつ

事務局：田辺会長から、一言ごあいさつを頂きたいと思います。

田辺会長：改めまして、よろしく申し上げます。年齢のせいかわかえづらく、議論の中では大きな声で発言をお願いします。宝塚から電車でしたが、車内放送で聞く黒井駅のイントネーションが、我々の認識と異なっていました。こういうところを正しい発声にしたいです。みなさんと頑張っていきたいです。

事務局：関副会長から、一言ごあいさつを頂きたいと思います。

関副会長：丹波市に移住して8、9年くらい。諸先輩方を前に副会長をさせて頂きます。未熟な事もあると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

9. 諮問

事務局：次に、市長から地域資源活用懇話会へ諮問をしていただきます。

市長：～諮問を読み上げる～

事務局：ここで公務の都合により市長がご退席されます。ありがとうございました。

～市長、退席～

10. 協議事項

事務局：これ以降は田辺会長に進行をお願いいたします。

田辺会長：それでは、次第に沿って協議を行ないます。

(1) 会議の公開等及び傍聴について、事務局から説明をお願いします。

事務局：資料4、(1) 会議の公開等及び傍聴について説明

田辺会長：今の事務局からのご説明についてご質問やご意見ございませんか。

無いようでしたら、公開等及び傍聴の取扱について原案のとおり運用していただきます。

次に、(2) 丹波市観光・商工業振興ユニティプランの改定について、事務

局から説明をお願いします。

事務局：資料5から資料6までの説明

田辺会長：資料5と資料6で一旦、区切って検討したいと思います。ご意見、ご質問ありませんか。

令和5年1月のパブリックコメントの前の段階、本年11月にプラン案が出来る。パブリックコメントに公表してみなさんから意見を聞き出来たものを2月に答申する。ということですが、パブリックコメントをもらった後の案から修正した答申を委員で確認、検討するのは無くてよいのですか。

事務局：集まるのが難しいスケジュールなので、送付して内容の説明をして、了解を頂く形で答申させていただけたらと思います。

田辺会長：その手続きを書きおいた方が良いでしょうね。

事務局：パブリックコメントの後に、委員に送付して説明し、了解を頂く事を追加しておきます。

田辺会長：資料6の1頁目「基本目標」とありますが、基本目標に沿った目標が要るのではありませんか。それが無いのなら「目標」で良いのではないですか。

事務局：「地域の魅力や人のつながりを活かして、移住・定住につなげる」が基本目標です。もっと具体的な何かが必要ですか？

田辺会長：「基本目標」という以上は、他に目標があるのか？ここは「目標」で良いのではないかという疑問です。

事務局：配布した冊子の中の「丹（まごころ）の里創生総合戦略に記載されている基本目標」に基本目標が書かれており、その文を資料6にそのまま記載しただけという事をご理解いただければ。

田辺会長：前は「目標」を基本的なものと、具体的な数値と2つに分けたから「基本目標」という言葉を使っている。今回は「目標」を2つに分けていないので、「目標」の一段階で終わってれば「基本」は要らないのではないかなと思うんです。

事務局：分かりました。

田辺会長：それから資料6の1頁目、観光「地域の魅力や人のつながりを活かして」は観光、商工業に分けず全体のスローガンで、むしろ人のつながりは観光よりも商工業の方だ。観光は、地域の魅力を活かして観光客を誘致し、最終的に移住定住につなげられたら観光振興になる。

事務局：今回ご審議頂くのは「丹波市観光・商工業振興ユニティプラン」の方で、資料6の図は「丹波市観光・商工業振興ユニティプラン」が丹波市の中でどういう位置づけなのかを示している。第2期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略の目標を、観光、商工業と明確に分けた表記をしたので誤解が生まれてしまったと思っています。

田辺会長：そうしますと、この箇所の観光、商工業は要らないのではないか。ここは目標にして、地域の魅力や人のつながりの後に、観光客の誘致と入れていただきたいのですが。

事務局：第2期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略は、すでに計画を持って動いています。今回は位置づけという意味で記載していますので、ここでご審議頂いたり、触ることは出来かねます。

田辺会長：2頁目の基本理念、基本方向は修正が可能なのですね。

事務局：最初に事務局から説明を致しましたが、前回、10年間のプランでつくり、今年度で前期が終わります。後期は社会情勢で変わってきて視点の修正の必要はあると思っているが、基本理念、基本の方向は10年間、継続するものと思っており、資料の中の大部分は引き継がれます。抜本的に、一から変えることは事務局では考えていません。ただし現状、世の中が大きく変わってきているので、みなさまでご審議頂いて修正していくことはかまわないです。

田辺会長：後半で修正するという事になって、2頁目の基本理念、基本方向は修正が効くのですか？出来上がっていて修正が効かないのであれば議論の必要はないわけですから。

事務局：基本理念、基本方針についてはユニティプランの中の話なので対象になるが、前回、10年後の目指す姿としての基本理念、基本方針として計画を作成している。それを、そのまま継承すると考えており、2. 後期計画策定の方向性の（2）後期計画策定の方向性で、具体的施策、基本目標、指標に、SDGs、コロナ禍、DX化など新たな社会的要素が加わり、10年前のままではおかしいということであれば、そこを修正するのを考えている。

田辺会長：変える可能性がある部分と、変えない部分をはっきり示して欲しい。

事務局：資料6の2頁目、上のブルーの部分、基本理念、基本方向は変わらないと事務局は思っています。下のピンクの部分、基本目標、基本施策、ここは時代と共に変わると思う。あまりにも大きく変わるようであれば、基本方向と合わない場合もあるので軸も修正もありえる。

田辺会長：基本は変わらないが、変えることは可能では、どっちにでも取れる回答。

委員：53頁からの観光施策の実施計画というのを考えて行こうという事ですよね。第2部の観光計画、第1条の基本理念の方向性はそのままいきましょうということですね。

田辺会長：資料6の3ページの中で、ここで検討するのはどの項目ですか？

事務局：赤のところです。

田辺会長：詳細は資料7で出てくるのですか？そうしたら3頁目の3後期計画策定に向けた視点はどうなるのですか？

事務局：変更する施策、具体的指標について、どういう視点で変更していくかというのが3頁目です。前期計画の時には観光拠点は明記していました。丹波市の中で、おばあちゃんの里が観光拠点、市内周遊が観光の基本です。

田辺会長：議論する前に、何を議論するかをはっきりさせておかないと。2頁目のピンクの部分が議論の対象になりますが、資料7の説明で、追々やっていく事ですね？

事務局：そうです。

田辺会長：そうすると資料6の3頁目は、ここで議論する必要があるのか、ないのか、という事を訊ねているのです。ここを変えないなら議論する必要はないし、もしも検討して変えていく可能性があるなら、議論しなければならないと思います。

事務局：事務局としてはこういう視点で考えてもらったかどうかという投げかけ。例えば丹波市の観光は別の視点で考えたらいいのではないかと、今回この場で議論して頂いたら良いかと思う。

田辺会長：議論した方がいいのですかね？では、3頁目の後期計画策定に向けた視点についてご意見、ご質問ありますでしょうか。

以前、丹波市の観光の窓口が柏原だったが、おばあちゃんの里に観光協会の窓口が出来た。特例で、高速を春日で降りておばあちゃんの里に寄っても、高速に入れるようにという、前回委員会の要望が実現されたと思います。①～⑥までの順番としては丹波市観光の窓口である、おばあちゃんの里は③だと思う。③の、近隣地域にない丹波市オリジナルの観光資源の「発信」の前に、観光資源を発掘しなくてはならない。どんなものか気づいてないものがありますから。その後、発展か、振興。3つ目に「発信」だと思います。

① 丹波市オリジナルの観光資源の発掘、振興、発信

② 発信の場であり、買えるのがおばあちゃんの里（道の駅）なので、②で①につなげていく。という視点が必要だと思います。

委員：地元にいる人は良さが気づけない。発掘するのは外部の意見が必要。声集めを施策でしていけばどうかという気がする。

田辺会長：具体的に観光資源。これは昔から住んでいる人も数年前からの移住者も含め、具体的な候補を出して、資料7のあたりで話し合うのが良いでしょう。事務局のご意見はどうですか。

事務局：資料7での議論が分かりやすい。

田辺会長：具体的な議論は資料7でします。

資料6に関する話し合いは、このあたりでよろしいでしょうか。よろしいようでしたら資料7の説明をお願いします。

事務局：資料7の説明

田辺会長：ただいまの説明についてご質問等ございませんか。

委員：コロナ関係とはまったく別の意見として、丹波は、ペットの産業にも活発で、それを目当てに来るお客さんも多く、EGサイクルさんなどあり、青垣にも泊まれる施設もあり、阪神間の人々が犬に負担なく旅行できる良い場所なので、そういう視点を入れて欲しいと思った。それらを受け入れ側として、丹波は土日にイベントが多すぎて、丹波の人は土日に休みたい人が多いため、人材確保が難しい。もう少し分散させるように提案したいと思うところです。

田辺会長：ペットの関係と、土日からイベントを分散させるということですね。ぜひ、このことも入れておいてください。他に何かありますか？

委員：この会議で、例えば観光大使などはどうかという具体的なアイディアの提案をしてもよいのですか？

田辺会長：観光と商工業の面でいろんな意見を出して、ここで議論して、良いアイディアであれば後期の施策の中に活かしていく形で良いですね。

事務局：いろんな意見を出して頂いて、協議頂き、後期計画に載せる。

田辺会長：前回に出た意見が資料7の2で個々に記載され、継続されるものや、廃止されるものがあれば当然、新規のものが入ってきてもよろしいですよ。

事務局：はい。

田辺会長：他に、いかがですか。どのような協議をしていくのか分からない方も多いのではないかと。みなさまに色んなご意見をだしてもらうのが大事だと思います。みなさん資料を初めて御覧になったので、事務局の説明が長くなりましたが、資料は事前にお届けいただいて、例えば議論が必要な個所にマーク濃い黄色をつけておけば事前に読んでおいてもらえる。できる限り絞って、この箇所の意見を言ってくださいのように。会議は短く。カットできるところはカットして頂くようにお願いします。それでは進行を事務局に戻します。

事務局：資料8は、阪神間から丹波市に来る人からとるアンケートです。アンケート項目に付け加えたら良い点などがあれば意見を聞きたい。

田辺会長：アンケート配布はいつ頃の予定ですか？どこでとる予定ですか？

事務局：7月中にとり、第2回目の時に結果を出そうと思っています。対象は阪神間の人を対象にwebでとる予定です。1000人対象で1週間～10日くらいでとれる予定です。

田辺会長：アンケート項目やアンケートの回数は1回だけですか？

事務局：基本的なユニティプランのアンケートは1回だけの予定ですが、同じ項目で何回も打てるかが有効になってきますので、予算の関係もあり、おいお

い考えたいと思います。

田辺会長：という条件でご意見ありますでしょうか？

委員：費用はかかるが、実際にポイント絞り、市内に出て声をかけてって調査するのが一番有効だと思っている。どこから誰が来たか何をしにきたのかが分かるのは参考になると思う。費用の関係で難しいとは思いますが。

田辺会長：いかがでしょう他には。

事務局：実際に丹波市に来ていただいた方に書いてもらう形がよいのではという意見だと思うが。資料にもあるがおばあちゃんの里、観光課案内所に来てもらった方に紙ベースで書いてもらう。場所としては観光情報センターのええとこナビ。集計は観光協会。

委員：市内の飲食店に設置して、リアルな数字や声を聞けるのでは。どの地域から来ているのかは分かりづらいのではないか。色んな方面から来ている。

田辺会長：他にはどうですか。

委員：飲食。グルメも観光の一つでは？

田辺会長：今のご意見に関してはどうですか？

事務局：あまり項目が多くなるのもどうかと思うので、少数の方を考えたいと思いますが、水分れまつりや佐治川まつりなどもあるので、その辺も問4の観光スポットに入れることはあるかと思う。

委員：目的とスポットが混ざっている。

田辺会長：資料8の問4、16. に農家民宿とレストランがあるのに、無鹿さんが無い。というところから、思い付きで項目を作ったような印象があります。もう少し丹念に拾い上げるか、分類して荒く取り上げるかという工夫をしてももらえたらいいと思います。7. の黒井は観光スポットではありません。黒井城は観光スポットですけど。

事務局：黒井では地名になってしまい適切ではないですね。

田辺会長：大雑把に書くか、細かく書くか統一する必要がありますよ。

委員：大雑把にしておいて記述で細かくする。

田辺会長：その方が良いですね。

事務局：問4. の項目についてはご意見いただいたように、そうします。

委員：web アンケートはどのようにして回答者に届けるのか？

コンサル：通常の市民アンケートの場合、住民台帳から1000人を無作為抽出します。Web アンケートは回答者のデータベースを持っているところがあり、その中から地域や年齢を限定し、該当する人にアプローチ出来るようなお知らせがきて、順番に書いてもらい1000人になったら終了になります。まったくの無作為ではない。

委員：メールみたいな形で？

コンサル：そうです。届いても回答しない人もいますが、回答にポイントが付くものが多く、登録している人は書きますので、1500 くらい配布したら 1000 人の回答が得られるイメージで。

委員：問4の設問は前回のユニティプランに上がっているのと同じなのか。継続的に同じ質問をした方がいいのであれば、継続性を求めた方が良いのか。

田辺会長：項目のチェックよりも、アンケート調査をやるか、やらないか、方法をどうするかを話し合う必要があると思います。

委員：項目が観光目的の人のみに絞られているが、仕事で来たついでに観光している事もあるだろうから、アンケート調査で何が知りたいかだと思いが、やはり再考した方が良い。

田辺会長：みなさんのご意見からすると、7月には少し時期が遅れるかもしれないが、ある程度、目的、方法、項目についてここで意見を出してより良いものにした方が良いのではないかと思います。次回までに委員のみなさんに、アンケートをどのようにするか集めて頂けたらどうでしょうか。

事務局：次回までに事務局から事前に投げかけて、次回協議する形ということでしょうか。

田辺会長：そうでないと遅くなりすぎると思います。次回の会合で具体的に話し合いが出来るように。よろしいでしょうか。

1 1. 次回懇話会

田辺会長：次回の懇話会開催日ですが、会場の都合もあります。7月26日(火曜日)の午後で具体的な時間は事務局と相談してから決めたいと思います。

事務局：会長と相談して具体的な時間が決まったら、開催日の案内と、資料を事前にお渡しいたします。

1 2. 閉会

田辺会長：それでは閉会いたします。次回もよろしくお願いいたします。